

フラクショナルレーザー（ダイオード）同意書

妊娠中・授乳中は不可

□フラクショナルレーザー

針の穴ほどの微細なレーザーを一度に多数照射し、皮膚に人工的に損傷を与えることで、それを修復するための成長因子が産生され、皮膚を新しく作りなおすことができます。ダイオードによるフラクショナルレーザーは、CO2レーザーによるものよりも表皮のダメージが少ないまま真皮に届く特徴があり、ダウンタイムが少なく済みます。

□効果

保険治療で十分に抑えられない難治性のにきびに対して非常に有効です。さらに、シワ、たるみ、毛穴の目立ちが改善するいわゆる若返りの効果があります。同様の機序で、切り傷、妊娠線、手術跡、にきび跡等の傷跡も、完全に除去する事はできないものの、見た目をぼやかすことができます。

□レーザー照射の流れ。(40～60分)

1. 洗顔し、診察台に横になり、麻酔クリームを照射部位に塗ります。麻酔が効くまで20分間待ちます。
2. 麻酔のクリームをペーパータオルで拭き取ります。
3. レーザーを全体的に照射します。照射漏れの無いよう、数周繰り返します。
4. ぬるま湯で、麻酔薬のヌルヌル感が無くなるまで素手で洗顔します。
5. 保冷剤で照射部位を冷やします（5分間）。
6. 赤い照射部位の上からお化粧可能です。

□レーザー後の経過

直後；照射部分は炎症で赤く腫れます。

翌日；炎症はだいぶ引きますが、ところにより淡く残ります。細かい点状のかさぶたができます。

3～4日後；ほとんどの人は炎症が治まります。

1～2週間後；炎症が治まり、かさぶたは無くなります。皮膚が生え変わるため、一時的にカサカサします。

□レーザー後の処置

1ヶ月間日焼け禁止。ノンcomedogenic、またはハイポcomedogenicの日焼け止めを遮光。

□照射の頻度および回数（1回につき、全顔 ¥17,000、小範囲¥13,000）（税抜）

1回の施術で、皮膚の10～20%の面積にレーザーが照射されます。その皮膚が再生されるのに2週間程かかり、その後、皮膚の成長因子等の量が通常量に戻ってきます。

従って、2～6週間に1回、合計5回程以上照射を繰り返すことによって、成長因子等の産生を継続させつつ、皮膚の全ての面にレーザーが照射されます。

□効果および再発について

効果および効果の持続期間には個人差があり、一概には決まっていません。ニキビは、効果が薄れてくると再び出現してきます。シワ、ハリ、毛穴の目立ち等についても、年齢とともに出現する皮膚の変化ですので、時間とともに再び症状が出現してきます。

何か気になる事がありましたら、すぐに再診して下さい。当クリニックの診療時間外の場合は、お近くの救急外来に電話をかけ、受診して下さい。

上記内容について、同意します。

日付； 年 月 日

ご署名；